

4月19日（金）11：30開始 衆議院第二議員会館

第136回院内集会（於 第8会議室（B1））

演題：東日本大震災、大熊町から考える防災と社会課題

大熊町の現状や持続可能な社会を考える機会をつくるため、2020年4月に一般社団法人「大熊未来塾」を立ち上げる。

「大熊町から、未来を考える」をコンセプトに、他の被災地の伝承者をゲストに招いたトーク、双葉郡で伝承活動をしている若者ととともに沖縄の伝承に触れるなど、大熊町に限らず社会全体の未来を考える機会を、地域や世代を超えて実践している。

講師：大熊未来塾塾長 木村紀夫さん



講師プロフィール：

1965年6月17日、福島県大熊町生まれ。同町海沿いの熊川地区で育つ。東日本大震災の津波で自宅は流失。震災当日の夜、津波で流された自宅跡にかけつけ家族を捜したが、福島第一原発から3km圏内に位置していたため、避難せざるを得なくなった。父・王太朗さん（当時77歳）は49日後に、妻・深雪さん（当時37歳）は三カ月後に遺体発見。次女の汐風（ゆうな）さんは発見されず、遺骨の一部が発見されるまで5年9か月を要した。

4/19（金）

要事前申込

申込は次から →

<https://x.gd/JR0Qk>



公益社団法人 福島原発行動隊
Skilled Veterans Corps for Fukushima